

浅川力三 県政だより



県議会議員 浅川 力三

誠意・熱意・創意・勇気を持って「熱き心で行動する男」

生涯にわたって健やかに安心して暮らせる山梨へ

ライフワークとして取り組んできた「C型肝炎対策」と「太陽光発電の適正導入」の施策が大きく前進しました。

1.C型肝炎を完治させるための対策

毎年本県でも、肝がんで300人近くの方が亡くなっており、その原因の8割がC型肝炎によるものとされています。

私は、これらの肝炎ウイルス感染者や肝炎患者の生命や人権を守るための活動をライフワークとしてきました。

平成24年、山梨県議会議員として全身全霊を傾け制定した「山梨県がん対策推進条例」において、条文に「肝炎・肝がん対策の推進」を個別のがん対策として明記したことにより、様々な施策が具現化され、ここに格段の進捗を見ています。

平成18年には、患者・家族会である北杜肝友会が発足し、不安を抱えながら日々を過ごす多くの感染者や肝炎患者にとっての心の拠り所となるばかりでなく、住民や行政との橋渡しの役割を担っています。

私は、これらの患者の皆さんの切実な訴えを伺う中で、県に対し、肝炎・肝がん対策の充実を強く働きかけて参りました。

その結果、地域における検査体制の整備促進、住民検診への肝臓硬度測定装置の導入など、全国に先駆けた取り組みをが次々と進められました。

本年5月には、肝炎・肝がん患者の皆さんにとって朗報となるビッグニュースが、報じられました。

一つは、C型肝炎患者のおよそ3割を占める、いわゆる2型に対する新薬「ソバルディ」の保険適用が認められ、国において医療費助成の対象となったというものであり、二つ目は、C型肝炎患者の7割以上を占める1型に対する治療薬「ハーボニー」が、新薬として承認されるとの情報です。

これらの新薬は、山梨県立病院機構の小俣政男理事長が、治験の推進に中心的な役割を果たされ、県立中央病院において積極的に取り組まれたものであり、それぞれウイルスが「ソバルディ」で96パーセント、「ハーボニー」においては100パーセントが除去されたとの治験が示されています。

私は、平成27年6月県議会において、自民党・県民クラブを代表し、肝炎患者の皆さんが、これらの特効薬による治療をできる限り早く受けることができるようにするため、県としての取り組みを知事に質問しました。

知事からは、少ない費用負担で適切に治療が受けられるように、迅速に「ソバルディ」による治療を県の医療費助成の対象に加える対応をとった、との答弁をいただいたところです。

また、ウイルス感染を原因とする慢性肝炎患者等を対象とした定期検査費用の助成制度について、平成27年度は、この助成回数を増やすこと、更に、今後も市町村や医療機関等との連携を強化し、肝炎・肝がん対策を一層充実していくことなど、心強い答弁をいただきました。

これを受け、9月県議会において、8月に保険適用が認められ国の医療費助成の対象となった新薬「ハーボニー」による治療を、県の医療費助成の対象に加えるための増額補正予算を議決したところです。

新薬は、経口薬で、従来の治療薬に比べ、治療期間も短く、副作用も少ないため、働きながら治療を継続することが可能になります。現在、多くの患者さんがこれらの新薬による治療を開始され、ウイルスの除去が確実に進み始めています。

これまで副作用に苦しみながら、長期間治療に立ち向かわれてきた患者の皆さんの姿を思うとき、万感胸に迫るものがあります。

小俣理事長の「C型肝炎は治るが前提になる」とのコメントが、現実のものになるようとしています。

2.太陽光発電施設の適正導入に向けた対策

これまでに本県内では、事業用太陽光発電施設が累計で5,248箇所、25.6万kWが設置されています。一方、経済産業省の公表資料による再エネ法による設備認定を受けている未設置の施設は18,843箇所、111万kWとなっており、今後も本県内において、計画、設置される太陽光発電施設が相当数見込まれます。

太陽光発電施設は、遊休地のみならず山間部、傾斜地等の災害発生リスクの高い地域や自然公園・富士山北麓世界遺産景観保全地区、観光エリア近辺等様々な場所で、また様々な方法で設置が行われており、防災、景観、環境への影響が顕在化しています。

私は、景観や災害防止に配慮した太陽光発電の適正な導入について、強く訴えてきました。

こうした中山梨県は、都道府県として初めて、10kW以上の事業用太陽光発電施設を対象とした「太陽光発電施設の適正導入ガイドライン」を策定し、法令上、立地や設備、整備方法等に規制が及ばない場合においても、事業者が自主的に取り組む事項等を示し、県、市町村が、ガイドラインによる統一した考え方で事業者を指導し、県内全域での適正導入を図ることとし、11月4日付けで公表しました。

内容としては、事業地の選定、計画段階から、災害発生リスク、景観・自然環境・近隣住民への影響等を適切に把握して事業を行うようにするため、防災、景観、環境等の観点から立地が望ましくない「立地を避けるべきエリア」、多くの課題がある「慎重な検討を要するエリア」を明示しています。

立地を避けるべきエリアとしては、①富士山北麓世界遺産景観保全地区 ②自然公園の特別地域及び普通地域 ③自然環境保全地区及び自然記念物 ④保安林 ⑤砂防指定地等の災害危険区域 ⑥農用地区域などを、立地に慎重な検討が必要なエリアとして、①災害のリスクが高いエリア ②地域森林計画対象民有林 ③市町村景観計画の景観形成拠点等 ④重要な観光施設等に近接するエリアなどを示しています。

発電施設の整備に当たり、防災、景観、環境等の観点から遵守すべき事項として、

- (1) 防災面・・・傾斜地への設置の対策、切土・盛土の対策、雨水対策の実施 等
- (2) 景観面・・・設備の色彩等（低明度、低彩度、低反射）、植栽やフェンスによる目隠の実施、丘陵地の稜線の保全 等
- (3) 環境面・・・希少野生動植物の保全措置、敷地面積20%以上の緑地割合とする（敷地が2,000㎡以上の場合）周辺部に15%以上の緑地等を配置する（モジュール面積3,000㎡以上の場合）等
- (4) 設備面・・・フェンス・施錠等の立入防止措置による安全対策の実施、発電所名、事業者名等を明示することとしています。

さらに、市町村への事前相談、住民との合意形成や法令手続を明示しています。

そして、維持管理に当たっては、保安規程に基づく点検、定期的な除草の実施など事業地の適正管理や、排水の定期的な確認、台風等の発生後の現地確認及び災害発生時の市町村への報告等も示しています。

このガイドラインに基づき、太陽光発電の適正な導入が図られ、景観や災害防止に十分配慮した設置が行われることが期待されます。



11月1日

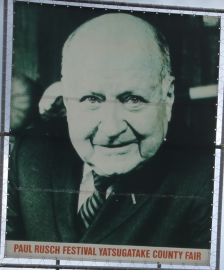
第2回増富もみじまつりウォーク

約500人の参加者が美しい秋の風景の中で、爽やかなウォーキングを楽しみました。



10月17日18日に

ポールラッシュ祭 第10回カンティフェアを開催しました。



国際児童絵画展に受賞した子供達を表彰しました。



子供達の夢が広がる地域づくり

第7回 菜の花プロジェクト！
高根西小学校の児童180名と小池集落の皆さま、観光協会の皆さま総勢260名で菜の花の種蒔きを行いました。



第7回グランfondハケ岳を開催！

今年も好天に恵まれ1700人の参加者を迎え、地元の400人を超えるボランティアの皆様にお手伝いいただきました。ありがとうございました。



11月4日 森のようちえんピッコロ (須玉町津金地区)

代表の中島久美子さんの教育方針をお聞きし、自然の中で生き生きと過ごす子どもたちに会ってきました。

110 Años de la Inmigración de Yamanashi al Perú
60 Aniversario Perú Yamanashi Shinbokukai
歓迎 山梨県、ペルー親善訪問団



ペルー山梨県人会60周年記念式典に参加しました。帰国後、ペルー大使館のエスカラ大使に武川48米を贈呈しました。



山静神シンポジウム及び懇親会
韓日関係の未来を語る-朝鮮通信使の現代的意味
主催 財団法人 山梨県国際交流協会



11月18日
日韓国交正常化50周年
記念山静神シンポジウム

山梨、静岡、神奈川の県議会議員が参加。忠清北道との交流の現況と活性化、また、浅川伯教・巧兄弟についての発表をしました。



ポールラッシュ祭 カンティフェア前夜祭で、ケンタッキー州からの訪問団を今年もお招きし親善パーティを催しました。団長のケントギルバートさんとプレゼントの交換を行いました。



10月11日・12日
第3回ハケ岳横断トレイルランを開催！



サンメドウズスキー場から観音平のミドル・ファミリーの2コースを300名を超える参加者が集まりました。



第2回馬とふれあう棒道ウォークを開催！

9月20日 300人を超える参加者が小淵沢の馬たちとふれあい、のたのしい一日を過ごしました。



美し森の環境整備

今回もレンゲツツシの育成活動の一環で50名を超えるボランティアの方とともに参加しました。

浅川カ三プロフィール

浅川カ三/昭和22年7月8日生
昭和41年/須玉商業卒業
昭和45年/拓殖大学卒業
昭和49年/昭和薬科大学卒業
昭和59年/ハケ岳青年会議所創立メンバー 副理事長
平成9年/清里小学校PTA会長

平成10年/高根町議会議員 初当選
平成13年/高根町議会副議長
平成15年/県議会議員 初当選
平成16年/清里観光振興会長
平成17年/決算特別委員長
平成18年/出資法人調査特別委員長
山梨県雪合戦連盟会長

北杜肝友会 相談役
平成19年/
農政商工観光委員長
企業会計決算特別委員長
平成20年/総務委員長
平成21年/第105代県議会議副議長
北杜ライオンズクラブ 会長

オール山梨青年会議所シニア会長
公益社団法人
やまなし観光推進機構 副会長
平成22年/県共同募金会 会長
県緑化推進機構 会長
平成23年/第120代県議会議長
産業技術短期大学校 後援会長

平成25年/NPO法人 ポールラッシュの会 会長
一般社団法人 北杜市観光協会 会長
平成26年/予算特別委員長
山梨県鉄道協会 会長
第10回ヤーコンサミットinハケ岳 会長
平成27年/リニア議連研究委員会 委員長
県自転車競技連盟 会長